



## 2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月9日

上場会社名 ダイトウボウ株式会社

上場取引所 東名

コード番号 3202 URL <http://www.daitobo.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山内 一裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営管理本部長 (氏名) 三枝 章吾

TEL 03-6262-6557

四半期報告書提出予定日 2022年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	956	9.2	33	71.3	10		11	
2022年3月期第1四半期	875		19		22		30	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 8百万円 ( %) 2022年3月期第1四半期 25百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	0.39	
2022年3月期第1四半期	1.01	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	20,694	4,657	22.4
2022年3月期	21,113	4,646	21.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 4,638百万円 2022年3月期 4,629百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		0.00	0.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,280	17.6	150	57.8	60	807.2	60		2.01
通期	4,800	6.6	320	29.2	140	62.8	160	273.5	5.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	30,177,000 株	2022年3月期	30,177,000 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	105,562 株	2022年3月期	105,562 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	30,071,438 株	2022年3月期1Q	29,894,438 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであります。今後の新型コロナウイルス感染症の影響や内外の経済情勢の変化による市況の変化等、様々な要因によって異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、全国的に新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着き、政府の行動制限緩和もあり、個人消費を中心に持ち直しの動きが出てきましたものの、国内消費者物価の上昇や海外市場の動きに伴う下振れリスクに十分注意を要する状況が続きました。

このような中で、当社グループは、「中期経営計画ブレイクスルー2024 ～PROGRESS IN THE NEW NORMAL～」に基づき経営諸課題に取り組みました。

商業施設事業におきましては、静岡県下有数の商業施設である「サントムーン柿田川」において、開業25周年となったことを弾みに、ゴールデンウィークの販促推進や地域密着型の運営を一段と強化し集客力アップに努めました。ヘルスケア事業におきましては、市況回復の遅れが見られる取引先が多く、特に主要マーケットである東京地区において苦戦しました。繊維・アパレル事業におきましては、中国の上海において前年同期比で売上が伸びるとともに、官需ユニフォームは前年同期比で改善したものの、アパレルOEM関係が苦戦しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は9億56百万円（前年同期比9.2%増）となり、営業利益は33百万円（前年同期比71.3%増）、支払利息などを加味した経常損失は10百万円（前年同期は経常損失22百万円）と前年同期と比べ改善しました。これに、法人税等の負担を考慮した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は11百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失30百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

#### (商業施設事業)

商業施設事業につきましては、静岡県下有数の商業施設である「サントムーン柿田川」において、新型コロナウイルス感染症の落ち着きと政府の行動緩和を背景に、4月の施設開業25周年を契機としたゴールデンウィーク商戦でのイベントなど各種広告宣伝を活発に行い集客力向上に努めたことにより、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、商業施設事業の売上高は5億40百万円（前年同期比0.5%増）となりましたものの、歩合テナントの一部において新型コロナウイルス感染症の影響が残ったことが響き、営業利益は1億96百万円（前年同期比1.3%減）となりました。

#### (ヘルスケア事業)

健康ビジネス部門につきましては、当社独自技術のバイオ麻商品が順調に売上を伸ばしたことから、売上高は前年同期を上回りましたものの、一般寝装品部門につきましては、羊毛関連の受注減少が響き、売上高は前年同期を下回り、ヘルスケア事業全体では前年同期比減収となりました。

この結果、ヘルスケア事業の売上高は2億9百万円（前年同期比16.4%減）、営業損失は21百万円（前年同期は営業損失17百万円）となりました。

#### (繊維・アパレル事業)

衣料部門につきましては、国内アパレルOEM事業が苦戦しましたものの、中国現地法人においては引き続き好調を維持したため、売上高は前年同期を上回りました。ユニフォーム部門につきましては、官需ユニフォーム分野で挽回できたことにより売上高は前年同期を上回りました。

この結果、繊維・アパレル事業の売上高は2億5百万円（前年同期比135.7%増）と増収し、営業損失10百万円（前年同期は営業損失23百万円）と前年同期比で改善しました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は206億94百万円（前期末は211億13百万円）となり、前期末に比べ4億19百万円減少（前期末比2.0%減）しました。主な要因は、売掛債権等の回収による受取手形及び売掛金の減少1億89百万円、減価償却等による建物及び構築物の減少1億22百万円であります。

負債の残高は160億37百万円（前期末は164億66百万円）となり、前期末に比べ4億29百万円減少（前期末比2.6%減）しました。主な要因は、買掛債務の支払等による支払手形及び買掛金の減少1億37百万円、約弁返済による借入金の減少1億51百万円であります。

純資産の残高は46億57百万円（前期末は46億46百万円）となり、前期末に比べ10百万円増加（前期末比0.2%増）しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失による利益剰余金の減少11百万円、金利スワップの時価評価による繰延ヘッジ損益の増加23百万円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2022年5月13日発表の予想数値に変更はありません。なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,253,143	1,149,174
受取手形及び売掛金	660,583	470,864
棚卸資産	760,658	778,084
その他	51,095	55,416
貸倒引当金	△1,170	△840
流動資産合計	2,724,309	2,452,699
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,360,027	8,237,463
土地	9,265,726	9,265,726
その他（純額）	138,900	125,854
有形固定資産合計	17,764,653	17,629,044
無形固定資産		
のれん	156,889	153,287
その他	18,135	19,397
無形固定資産合計	175,025	172,685
投資その他の資産		
投資有価証券	325,088	317,655
破産更生債権等	83,256	83,256
繰延税金資産	52,675	52,968
その他	68,716	66,413
貸倒引当金	△80,228	△80,228
投資その他の資産合計	449,509	440,064
固定資産合計	18,389,188	18,241,794
資産合計	21,113,498	20,694,494

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	419,907	282,243
短期借入金	607,992	592,992
未払法人税等	4,406	4,830
賞与引当金	46,074	32,909
株主優待引当金	26,000	—
その他	656,155	595,250
流動負債合計	1,760,536	1,508,225
固定負債		
長期借入金	10,276,630	10,139,632
長期預り保証金	1,468,943	1,453,857
再評価に係る繰延税金負債	2,476,495	2,476,495
退職給付に係る負債	309,637	313,972
資産除去債務	55,147	55,295
その他	119,164	89,967
固定負債合計	14,706,019	14,529,219
負債合計	16,466,556	16,037,444
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	14,342	14,342
利益剰余金	△54,093	△65,893
自己株式	△9,781	△9,781
株主資本合計	50,466	38,666
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△15,054	△22,650
繰延ヘッジ損益	△80,341	△56,605
土地再評価差額金	4,664,864	4,664,864
為替換算調整勘定	9,894	14,372
その他の包括利益累計額合計	4,579,363	4,599,981
新株予約権	17,112	18,402
純資産合計	4,646,942	4,657,049
負債純資産合計	21,113,498	20,694,494

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	875,840	956,047
売上原価	607,308	682,908
売上総利益	268,532	273,139
販売費及び一般管理費	249,142	239,914
営業利益	19,390	33,224
営業外収益		
受取利息	7	—
受取配当金	3,600	3,513
持分法による投資利益	—	162
その他	405	547
営業外収益合計	4,013	4,223
営業外費用		
支払利息	43,603	45,279
持分法による投資損失	683	—
その他	1,351	2,796
営業外費用合計	45,639	48,076
経常損失(△)	△22,236	△10,628
税金等調整前四半期純損失(△)	△22,236	△10,628
法人税、住民税及び事業税	903	1,464
法人税等調整額	7,152	△292
法人税等合計	8,055	1,171
四半期純損失(△)	△30,291	△11,799
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△30,291	△11,799

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純損失(△)	△30,291	△11,799
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,053	△7,596
繰延ヘッジ損益	3,461	23,735
為替換算調整勘定	2,967	4,478
その他の包括利益合計	4,375	20,617
四半期包括利益	△25,916	8,817
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△25,916	8,817
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	商業施設事業	ヘルスケア 事業	繊維・アパ レル事業	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	70,632	250,826	87,202	408,660	—	408,660
その他の収益	467,179	—	—	467,179	—	467,179
外部顧客への売上高	537,812	250,826	87,202	875,840	—	875,840
セグメント間の内部売上高 又は振替高	114	—	—	114	△114	—
計	537,926	250,826	87,202	875,954	△114	875,840
セグメント利益又は損失(△)	198,757	△17,397	△23,879	157,480	△138,090	19,390

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△138,090千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	商業施設事業	ヘルスケア 事業	繊維・アパ レル事業	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	73,171	209,806	205,542	488,520	—	488,520
その他の収益	467,526	—	—	467,526	—	467,526
外部顧客への売上高	540,698	209,806	205,542	956,047	—	956,047
セグメント間の内部売上高 又は振替高	114	—	—	114	△114	—
計	540,812	209,806	205,542	956,161	△114	956,047
セグメント利益又は損失(△)	196,202	△21,165	△10,174	164,862	△131,638	33,224

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△131,638千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。